



No.25

# 大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou  
Elementary School

HP:<http://www.taisyo.obihoro.ed.jp>

平成29年7月6日

早いもので7月に入りました。長いと思っていた1学期も7月24日(月)1学期終業日まで11日の登校日を残すのみとなりました。ここ数日は、暑さ寒さを繰り返しながらの不安定な気候で体調管理にはくれぐれも注意してください。さて、今号では、参観日や授業研究、修学旅行を通しての子ども達の様子をお伝えしていきます。

## 授業参観・懇談会(低学年1~3学年)ありがとうございました。

7月5日(水)、今年度2回目となる授業参観・懇談会を行いました(高学年の授業参観・懇談会は7日(金)に行います)。多くの保護者・地域の皆様にご来校していただきました。4月から3ヶ月あまりが経ちました。真剣な眼差しで学習活動に取り組む子ども達の様子はいかがだったでしょうか。お忙しい中、多くの皆様にお越しいただきました。誠にありがとうございました。

以下は、授業風景です。子ども達の真剣な様子・取組が伝わってます。

低学年参観日の授業の様子



1年生「算数」



2年生「体育」



3年「音楽」

子どもたちは、学習課題(めあて)を『つかみ』、練り合う(『考える』『交流する』)、そして確かめる(『まとめる』)の授業構成にそって学習を進めていきました。教師の支援とあわせて授業を参観いただけたと思います。今後も子どもたちに身に付けさせたい力を明確にし、日々の授業実践につなげていきたいと考えています。

## お昼休みに行われたお話し会には、多くの子どもたちが図書室に集まってくれました。

昨日の授業参観に先立って、今年度初めてのお話し会が図書室で行われました。

今回の取組は、図書ボランティアの梶芳枝さん(写真上)と、深田早苗さん(写真下)による読み聞かせでした。子どもたちの中では、読み聞かせのスタイルは、すっかり定着してまして、毎回、絵本や紙芝居の世界に引き込まれています。子どもたちにとって、楽しみの一つになっています。お話から、ストーリーの面白さを感じるとともに、生活の知恵、人の生き方・考え方などを学ぶことができるなど、充実した時間となり、楽しいひと時を過ごすことができましたようです。

図書ボランティアの皆さん、協力員の皆さん、お忙しい中ありがとうございました。



※全体懇談会での概要は次週にまとめてお伝えします。

## お知らせとお願い

※過日にご通知しました通り、明日は、1回目の「七中エリアの日」です。「七中エリアの日」は、保育所・学童・小学校・中学校が連携して取組する中の一つとして、アウトメディアデーとして、各ご家庭で「完全に見ないしない」～「食事のときのみ取り組む」など、段階的に選んで行い、感想アンケートをお願いしています。可能な範囲でご協力をお願いします。

## シリーズ「校内研究を通じた本校の取組」その3

### 4 研究内容

#### 研究仮説Ⅱ：考えを伝え合い・深める子の育成（算数授業の場合）

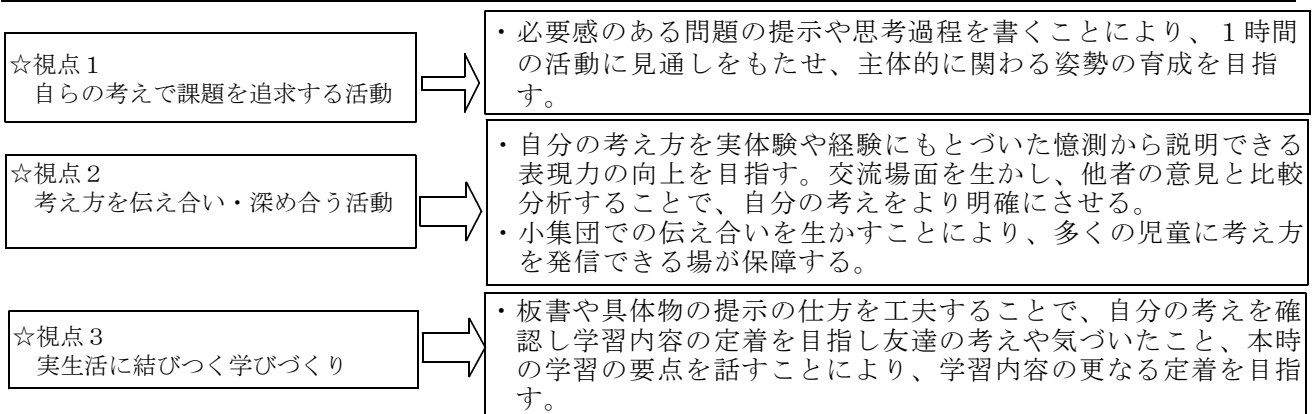
互いの考えを交流し合うためには、解決の糸口や答えの見通しをもって主体的に自力解決に取り組む学習への意欲や探求的態度が重要となってきます。その意欲や態度を育成するためには、本時におけるねらいを明確にし、子ども達にどのような力を身に付けさせたいのか、教師側がしっかりとおさえる必要があります。身に付けさせたい力を明確にすることで、どのような学習交流形態が効果的なのかを考え、授業を構築できるはずです。

ねらいを明確にし、交流形態にも工夫を凝らしましたが、「図には表せたけれど式が考えられず、答えが出せなかった。」また、「式も答えも出せたけれど、図には表せなかった。」という児童もいることでしょう。しかし、既習を生かしたり、支援を受けたりしながら粘り強く自力解決に取り組むことにより、最後まで答えを導き出せなかったとしても、どこまで解けて、どこから分からないのかが明確であれば、それを交流場面で発表し、学び合いにつなげれば良いと考えます。仲間と伝え合い、高め合い、豊かに学び合う手立てが必要となります。

また、互いに学び合う姿勢が育ってくれば、友達の発表に共感しながら聞いたり、もう一度説明してほしいところを聞き返したり、疑問をもち質問したり、自分の考えと比べて意見を述べたりする姿もどんどんみられるようになってきます。このようによい話し手だけでなく、よい聞き手を育てることで、児童自らがよりよい考え方やよりよい解決方法、よりよい発表方法を身に付けることができます。

しかし、やみくもに交流場面を設定しても子ども達の力は育っていきません。そこで、育てたい話し手・聞き手の姿を教師側が整理し、授業のねらいに沿った交流場面を設定することで、自分の考えを相手にわかりやすく伝える子どもが多くなると考えます。

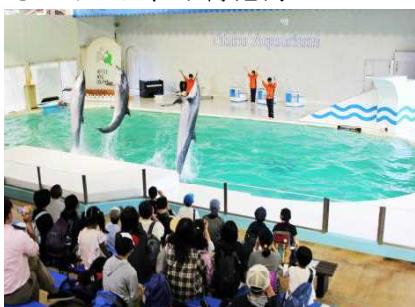
#### 研究仮説Ⅰ：学習の見通しをもち、主体的に学ぶことができる子ども（道徳授業の場合）



道徳提案授業～左から「小ボード利用の表現」「心のメーターで表現」「心のメーターで変容」～

### ～ 修学旅行その2「本領発揮・へこたれず頑張る6年生」～（最終回）

（2日目 小樽市）小樽水族館見学、製作体験を行いました。へこたれず、沢山の階段がある小樽水族館をくまなく歩きました。小樽運河食堂の昼食バイキングは、かむと甘味の出る焼肉と寿司をたくさん食べました。おいしそうにたくさん食べている6年生の姿を見て、「良かったなあ。」とほっとしました。そのあとは、小樽港湾センターでステンドグラスやオルゴールなどの製作体験を熱心に行いました。



迫力ある小樽水族館イルカショー（左）

小樽運河食堂での昼食バイキング（中）

小樽港湾センター製作体験（右）